

西暦 2025 年 10 月 28 日

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報の公開について

当センターでは、下記の研究を実施しております。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、研究対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、情報を公開することにより実施しております。この研究に関するお問い合わせ、研究参加への拒否依頼などがありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

研究機関名	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター
研究課題名	経会陰超音波での児頭下降度と鉗子分娩における有害事象との関連についての検討
研究責任者 氏名・所属部署	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター
研究対象者 (研究対象者等が自身が対象者であると容易に知り得るように記載)	2021/01/01-2024/12/31 の間に鉗子分娩を行った妊娠 37 週 0 日以上単胎妊娠
研究期間	研究実施許可後～2026 年 3 月 31 日
研究目的・方法 (意義、目的、方法、試料等の二次利用等)	鉗子分娩は自然分娩に比べ、母児の有害事象が増加するといわれています。また、経会陰超音波における Angle of Progression (AoP) というパラメーターは、分娩中の児頭下降度の評価に有用であるとされています。しかし鉗子分娩における有害事象の予測に AoP の計測が有用である可能性が示唆されているが、十分な検討はされていません。 診療録より母体、児の情報を収集し、母児の有害事象をきたす鉗子分娩と AoP との関連を調べます。本研究で収集した情報は、将来の別研究への利用や、他機関への提供は行いません。
研究に用いられる試料・情報の項目や種類	妊娠分娩歴、体重、合併症、分娩週数、分娩様式、会陰裂傷、新生児外傷などの分娩中や出生後の情報を収集し、解析に用います。 個人情報収集後ただちに匿名化を行い、紙媒体は鍵付きロッカーに、ネットワークから切り離されたコンピューターを使用して記録された外部記憶媒体 (USB など) は施設可能な場所に厳重に保管いたします。研究成果発表後、5 年保管し、その後、適切に廃棄いたします。
研究計画書などの研究関連資料の入手方法、または閲覧方法	本研究の研究対象者(等)が、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手または閲覧をご希望される場合、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で入手、または閲覧ができます。下記の間合せ先までご連絡ください。
個人情報の開示に係る手続き	本研究の研究対象者(等)から、個人情報の開示の求めがあった場合、保有する個人情報のうちその本人に関するものに限って、地方独立行政法人大阪府立病院機構 個人情報の取扱及び管理に関する規程に基づいて、開示手続きをとりますので、下記

